

あ の こ ろ の こ ろ



その間、私個人の人生については、結婚、子供の出生、その教育、両親の死等考え得る出来事が殆ど起きました。折角、駒場のように、立派な学校に居ながら自分の生活を

「仰光寮を思い出しつつ」

送るのに精一杯で、駒場のち、感熟してゐる文箱です。為には出来な先生が、決してまた立派な先生が、沢山居られ、蔵書豊か、図書館等もありましたのに、駒場が、學びとること、余りしませんでした。芸術科があつたのですから、こゝ音楽が美術に関心を抱ては、い、事の一つでした。

都立雪谷高校教諭

藤岡秀健

かった。その後悔して居りました。

それでも、因國、特に漢文には、現存資料指導四郎兼の吉田現生を筆頭とする優秀な先生方が沢山居られるが、御座る折など、今日常の座談を受けた事が、種々

頃になって、大麥に役に立して居りました。

現在鎌倉高校に通っては、片まず一時間半運動にかかり、また、駒場時代の運動片道三十分と比べると大麥忙しうて送って居ります。

したがって色々な科の先生方とお話をし、少しでも知識を吸収したいと努力して居りました。



幼稚園だより！
いもほり

年長組は秋の「おとも」もつゝ、
りは園生生活の中でもつゝ
もたのしと思ひ出のひとつ
に数えられます。

その地は教育大附屬、初
師合農藝、經濟教育成長（成
のため貸切木本）と種とり片
かねて、成城学園駅より片
四十分歩け歩け。帰路は種
り上げたおとも一キロと約
獲の喜びを背負つて、
邁るの道を足して、
ば自分の手で畑のおともを
畑へ――それは都会の子生

「……バナナみじないな、おい
なものかたがであつた。
ちいさいのは、つるが
なかい。おいもはもぐ
らみだ。
——せんせいに「このこ
のころほりなさい」と
いわれて、ほつたら、す
ぐぐ大きいのがでてきた

わたしがは土の上に小さいお花も、土の上にてきたの。それをみただと、とるのよしたの。もつと大きくなつたらたべられでしよう。それまでもそこにおいとく。——あたしがね、はかりではあったら、重さがいふうちであつたら、ちやいづつとるやな色をしていた。——駒場幼稚園長

鹿野京子 32 南

国体から



二四四長崎國体
陸上競技部理事
竹村 博之



つた。それにしてもこの健闘の隣の人、細谷君の存在は忘れられない。
大久保つ江（ＯＢ日大）
女子二百米第二位入賞。
~~~~~  
体操部理事 小貴 房枝  
体操競技は長崎市中央体



丘の上から

テクロ、生ジュース問題と取りくむ一方、ママさんのバレエ部をひきいて活躍する、お元気な和田さんをご紹介します。

「天然果汁100%のものだけをジュースと呼ぶ」という果汁協会の発表を詠へ、長かったジュース論争をふりかえる。ジュースは果実の搾汁を意味し、果汁は100%のものに限るべきであるとの公正取引委員会で消費者の要望に対し、メーカー側は果汁含有率を表示するから10%以上をジュースと呼ぶという主張をゆずろうとしたかった。

おなじみの20°C入りの缶入りで10%と15%の20°Cみか3錢位の果汁が入っているだけのものをジュースと呼ぶ主張に私腹をいっ歩もつかずとではなかった。しかし主婦連合会全体のジューステスト結果の発表を機に、世論が急激な転換を遂げた。烈しい世論の攻撃消費者の当然の要求に、メーカーも遂に腰を据え直さざるをなかったのである。

主婦連合会に入ると、年々かさねて長閑がたつ頃、

大学生。消費者の弱き、運動のむづかし、自分の勉強不足を痛感している。昨今やつと消費行政といふ言葉がきかれるが、テクロ言禁禁止の強期、あり余る古米給食等、腹の立つところ多い世の中である。昨年ドイツ政府のお招きで、一ヶ月ほど西ドイツで勉強見学、華美とは程遠く、実質的な置きを肌で感した。

主揮連合会常任委員  
和田 正 駒 2  
（旧三木）

欧州家庭視察＝英國にて



欧州家庭視察＝英国にて

## 尾崎先生を偲ぶ

[illegible]

午  
木

博之

## 昭和43年度 駒場松桜会 会計報告

[illegible]

44年3月大学合格者概

| 大学名 | 男 | 女  | 大学名 |
|-----|---|----|-----|
| お茶大 |   | 6  | 早大  |
| 千葉大 |   | 11 | 慶大  |
| 大東大 | 2 | 10 | 智大  |
| 茨城大 |   | 1  | 学大  |
| 医歯大 | 1 | 1  | 女大  |
| 農学大 | 4 | 18 | 田大  |
| 工学大 |   | 1  | 大   |
| 横国大 |   |    |     |

|   |   |    |    |    |    |    |
|---|---|----|----|----|----|----|
| 男 | 女 | 見昭 | 村太 | 原末 | 原秀 | 44 |
|---|---|----|----|----|----|----|

|   |    |    |   |    |    |   |   |
|---|----|----|---|----|----|---|---|
| 4 | 27 | 15 | 8 | 23 | 18 | 6 | 9 |
| 2 |    |    |   |    |    |   |   |

子(同右補) 工高由

紀雄(英) 都航空高由

(一)(事務主事) 深南

都竹台京

轉任松

年度転出職員

川 里 津 野 田 原  
清 義 日 中 澄 重

**年度転入職員**

|                            |              |        |          |
|----------------------------|--------------|--------|----------|
| 前住<br>高松市<br>出雄(英)<br>之(音) | 新<br>郎(事務主事) | 代(同右補) | 信(理科業務員) |
|----------------------------|--------------|--------|----------|

# 教室封鎖の経過概要

— リム・ルー。 —

料金や印刷費・郵送料①

の遺児のために、育英資金・替料金や印刷費・郵送料の

(社会科 菱刈隆永記)

*Journal of Management Education* 30(6)br/>© The Author(s)  
10.1177/0095647206288111  
<http://jme.sagepub.com>

L

